

01

同梱物を確認しよう

パッケージを開けたら、すべてのものが入っているか確認してください。
不足している場合は、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

所要時間: 約 **15** 分

VQD106-1 / VQD106PADS

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">PDQ-8S (スネア) × 1PDQ-8 (タム) × 3CYQ-12 (ライド、クラッシュ、ハイハット) × 3KDQ-8 (キック) × 1<ul style="list-style-type: none">- KDQ-8 専用ピーター× 1FD-9 (ハイハット・コントロール・ペダル) × 1ドラム・キー× 1六角レンチ× 1 | <ul style="list-style-type: none">取扱説明書セット<ul style="list-style-type: none">- VQD106 / VQD106PADS セットアップ・ガイド (本書)- PDQ-8S / PDQ-8 取扱説明書- CYQ-12 取扱説明書- KDQ-8 取扱説明書- FD-9 取扱説明書- 滑り止めシート (KDQ-8 用) × 1※ KDQ-8、TD-07 の付属品は、それぞれの梱包箱に入っています。 | VQD106のみ <ul style="list-style-type: none">TD-07 (ドラム音源) × 1ドラム音源ホルダー× 1専用接続ケーブル× 1AC アダプター× 1  |
|--|---|--|

VQD106-2

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">MDS-Q (ドラム・スタンド) × 1NEQ-K (キック・ペダル用) × 1NEQ-H (FD-9 用) × 1 | <ul style="list-style-type: none">取扱説明書セット<ul style="list-style-type: none">- MDS-Q 取扱説明書- NEQ-K / NEQ-H 取扱説明書 |
|--|---|

※ MDS-Q の付属品は、『MDS-Q 取扱説明書』を見ながら確認してください。

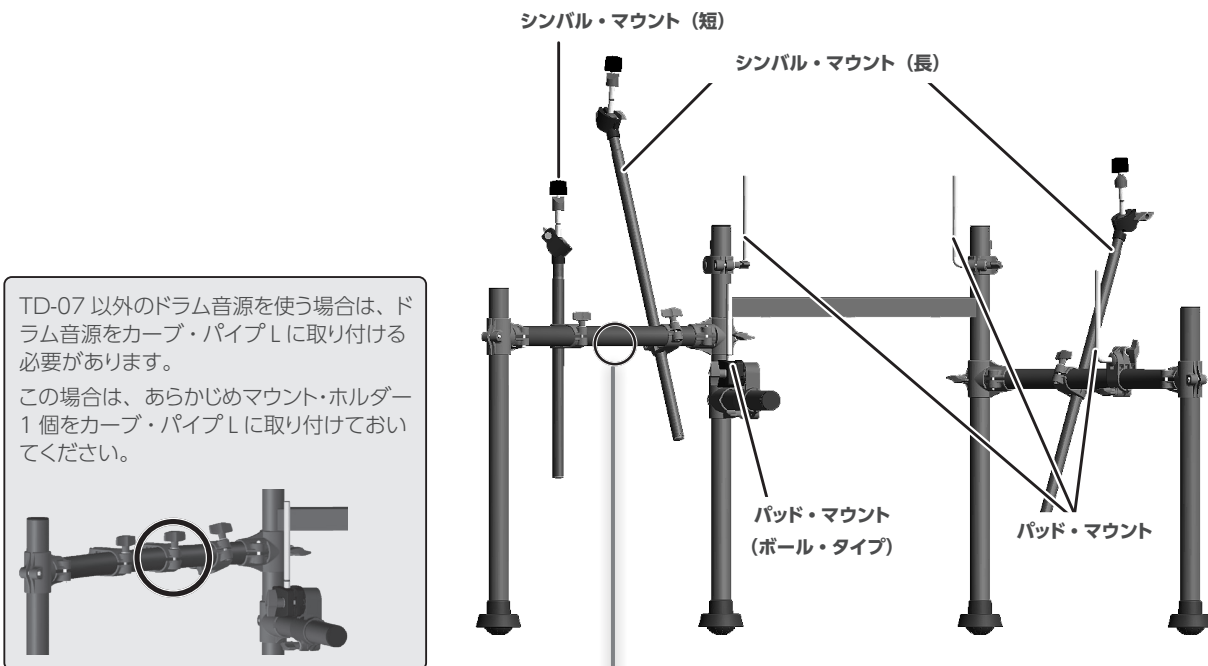
※ このパッケージには、キック・ペダルは含まれていません。市販のものをお使いください。

02

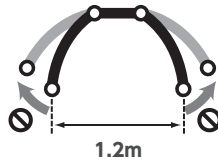
ドラム・スタンド (MDS-Q) を組み立てよう

『MDS-Q 取扱説明書』の手順に従って、スタンドを組み立ててください。

所要時間: 約 **35** 分



※ ドラム・スタンドの転倒を防ぐため、両端のスタンド脚パイプの距離を 1.2m 以上離さないでください。



03

キック・ドラム (KDQ-8) を組み立てよう

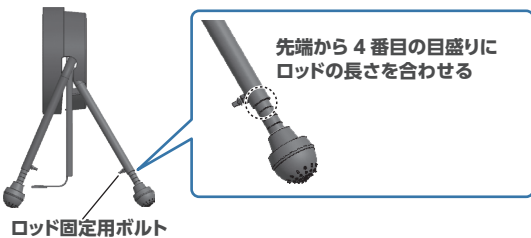
『KDQ-8 取扱説明書』の手順に従って、キック・ドラムを組み立ててください。

注意 本体が重いため、作業中に手や足を傷つけたり指をはさんだりしないように、十分に注意してください。

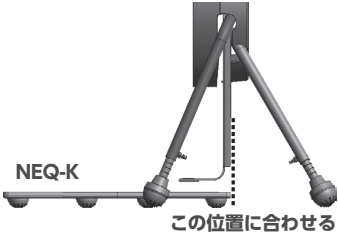
所要時間: 約 **15** 分

1. 本体を立てた状態で、ドラム・キーを使ってロッド (4 本) の長さを調節します。

ロッドには 5 本の目盛りがあります。ドラム・キーでロッド固定用ボルトを緩め、先端から 4 番目の目盛りにロッドの長さを合わせてからロッド固定用ボルトを締めます。



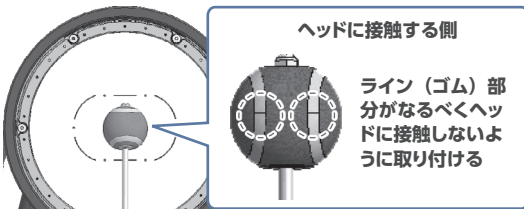
2. NEQ-K を図のように設置します。



3. キック・ペダルにボール・ピーターを取り付けます。

KDQ-8 専用のボール・ピーターを使用することで、KDQ-8 の静粛性を最大限に発揮することができます。

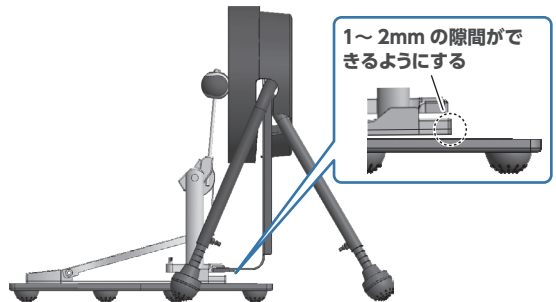
※ ボール・ピーターのライン (ゴム) 部分がなるべくヘッドに接触しないように取り付けてください。ライン (ゴム) 部分が接触すると、ヘッドが黒く汚れやすくなります。



4. キック・ペダルを NEQ-K の上に置き、キック・ペダルをペダル・プレートに取り付けます。

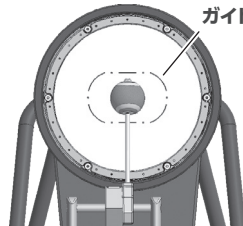
5. ロッド (4 本) の長さを調節します。

キック・ペダルのつま先側の底面と NEQ-K との間に 1 ~ 2mm の隙間ができるようにロッドの長さを調節します。ロッド 4 本がすべて同じ長さになるように調節してください。



6. ピーターの位置を調節します。

ピーターがヘッドにあるガイドの中央に当たるように、ピーターの長さを調節します。

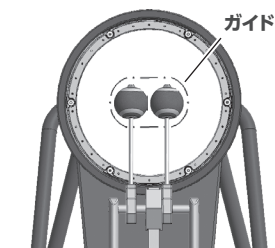


※ キック・ペダルのピーター以外の部分が KDQ-8 のフレームに接触しないように、ピーターの位置やロッドの長さを調節してください。

ツイン・ペダルを使う場合

KDQ-8 は、ツイン・ペダルを使用することもできます。以下の条件を満たすように、ピーターの位置を調節してください。

- 2 つのピーターの打点が、ガイドの中心から左右対称の位置になっている。
- 2 つのピーターの打点が、ガイドの内側に収まっている。



※ もう一方のキック・ペダルにも NEQ-K (別売) を設置してください。また、KDQ-8 専用ボール・ピーター (別売) を追加してください。

04

各パーツを取り付けよう

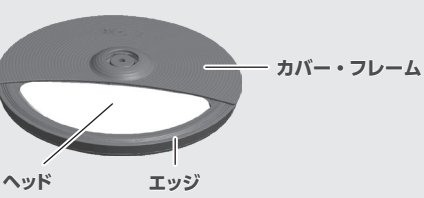
各パーツの詳細については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

所要時間: 約 **35** 分

ハイハット／クラッシュ・シンバル／ライド・シンバル (CYQ-12) を取り付ける

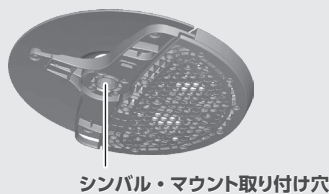
注意

CYQ-12 を持ち運ぶときや取り付け／取りはずしをするときは、カバー・フレームを持たないようにしてください。必ず、ヘッド／エッジ側を持つようにしてください。



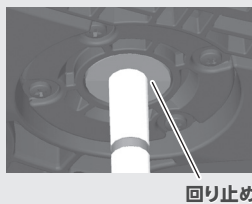
1. CYQ-12 のシンバル・マウント取り付け穴と回り止めの向きを合わせます。

2. 回り止めがシンバル・マウント取り付け穴に完全に収まるように、CYQ-12 を取り付けます。



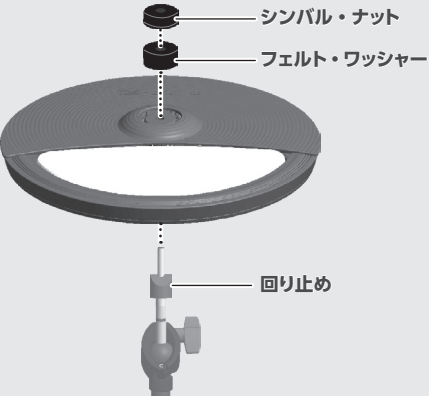
ヘッド／エッジ側を持ち、シンバル・マウントのロッドに対して真っすぐに差し込んでください。

※ CYQ-12 を無理やり差し込まないでください。



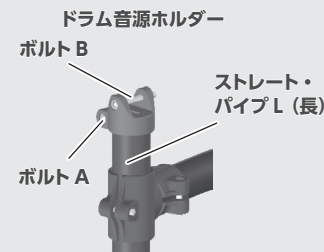
3. フェルト・ワッシャーとシンバル・ナットで、CYQ-12 を締め付けます。

シンバル・ナットの一番上の面とシンバル・マウントのロッドの先端が揃うまで、シンバル・ナットを締めます。

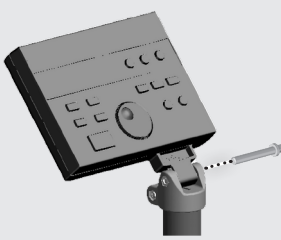


ドラム音源 (TD-07) を取り付ける

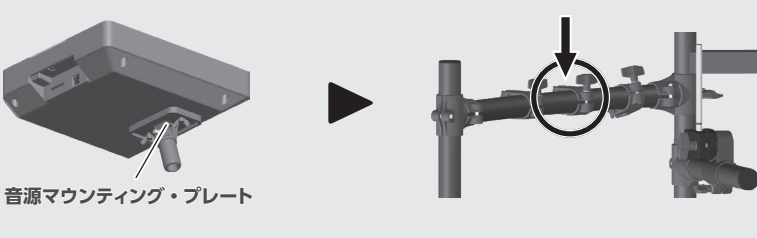
1. ドラム音源ホルダーのボルト A をドラム・キーで緩めてからドラム音源ホルダーをストレート・パイプ L (長) に取り付け、ボルト A を締めます。



2. ドラム音源ホルダーのボルト B を使って、図のように取り付けます。



TD-07 以外のドラム音源を使う場合は、カーブ・パイプ L に取り付けマウント・ホルダーに取り付けます。

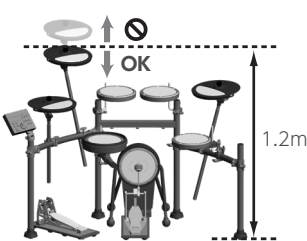


NEQ-H の上に、FD-9 を設置します。

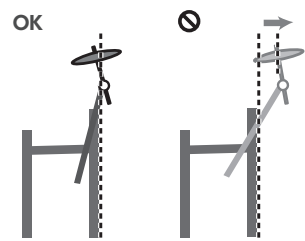
FD-9 は NEQ-H の中央に置き、はみ出さないように設置してください。必要に応じて、アンカー・ボルトで固定します。

シンバルの位置調整

シンバルの最も高い部分が 1.2m 以下になるように、シンバル・マウントの高さを調整してください。



シンバルの中心が、本体のパイプ (スタンドの一番後ろ側のパイプ) よりも後ろにはみ出さないように取り付けてください。



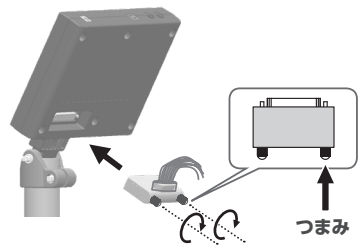
05

パッドとドラム音源（TD-07）を接続しよう

所要時間：約 35 分

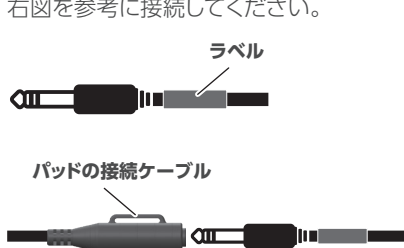
1. 専用接続ケーブルを、下図のようにドラム音源に接続します。

コネクターを奥まで差し込み、つまみを回して固定してください。



2. 専用接続ケーブルのプラグを、パッドとFD-9に接続します。

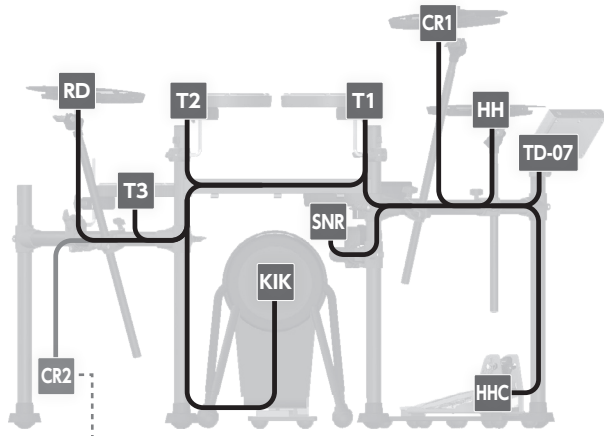
専用接続ケーブルには、接続するパッドを示したラベルが貼られています。右図を参考に接続してください。



※ プラグは確実に奥まで差し込んでください。

TD-07 以外のドラム音源を使う場合は、『専用接続ケーブル配線図』を参考に、ドラム音源と各パッド／FD-9 を接続してください。

専用接続ケーブル配線図
（背面から見た図）

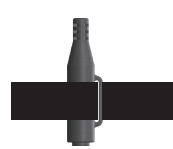


「CR2」は使用しません。別売の CYQ-12 とシンバル・マウント（MDY-Standard）を使って、シンバルを増設するときに使います。
増設しないときは、キャップを着けたまま、演奏の妨げにならないように固定してください。

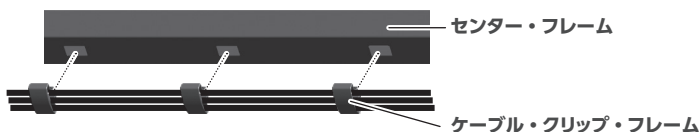
ケーブル類は、演奏の妨げにならないように、ケーブル・クリップ、ケーブル・タイ、ケーブル・クリップ・フレームを使って固定してください。

パッドの接続ケーブルは、ケーブル・タイを使ってスタンドに固定します。

- 接続ケーブルの図の部分に、ケーブル・タイを通します。
- ケーブル・タイをスタンドに巻き付けます。



- ケーブル・クリップ・フレームにケーブルを通します。
- センター・フレームにケーブル・クリップ・フレームを取り付けます。

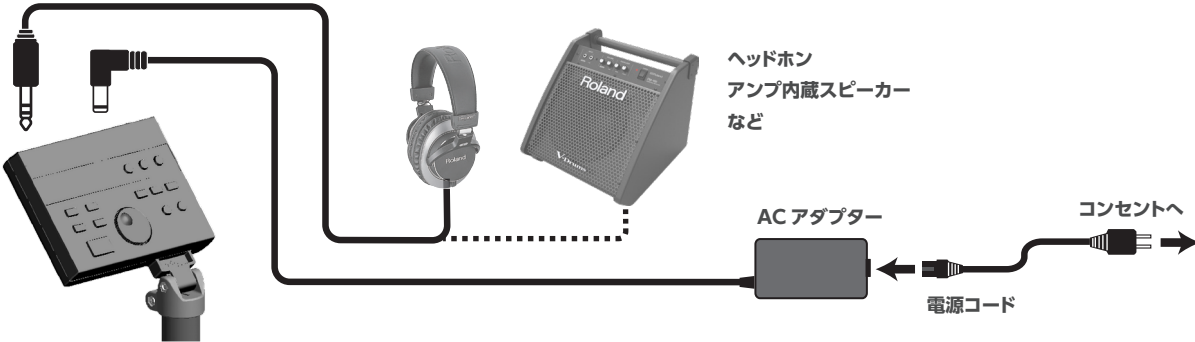


06

AC アダプターやヘッドホン／スピーカーを接続しよう

『TD-07 取扱説明書』、または使用するドラム音源の取扱説明書を参考にして、AC アダプター、ヘッドホンやスピーカーを接続します。

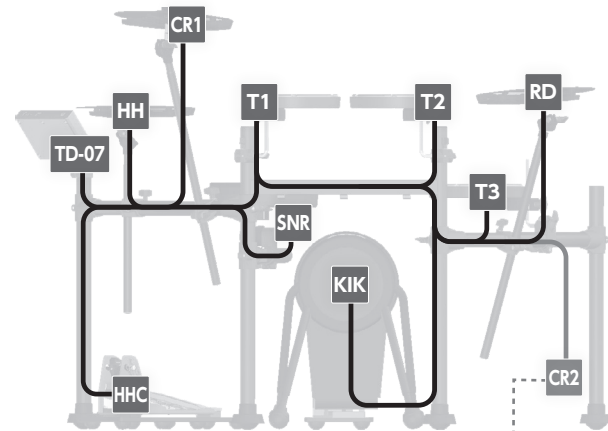
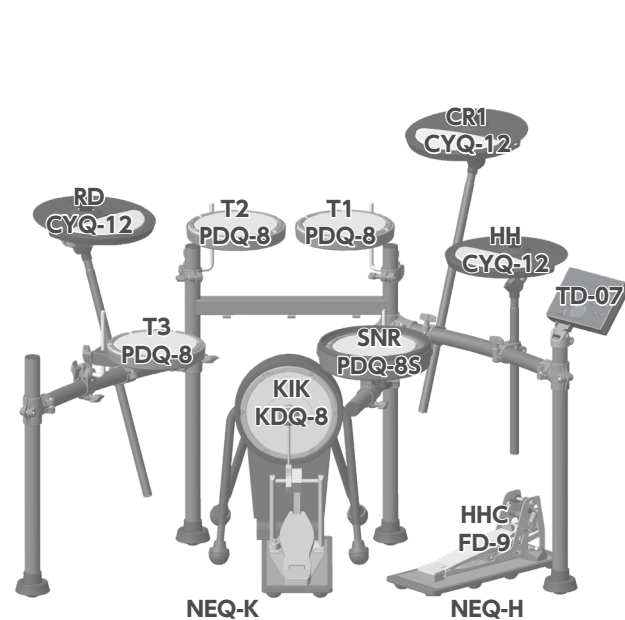
※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



左利き用のセッティングにする場合

『MDS-Q 取扱説明書』の「左利き用に組み立てる場合」に従ってドラム・スタンドを組み立て、下図のように、各パーツの取り付けとケーブルの接続をしてください。

専用接続ケーブル配線図
（背面から見た図）



「CR2」は使用しません。別売の CYQ-12 とシンバル・マウント（MDY-Standard）を使って、シンバルを増設するときに使います。
増設しないときは、キャップを着けたまま、演奏の妨げにならないように固定してください。

これで、組み立てと接続が完了しました。接続が完了したら、ドラム音源の取扱説明書に従って電源を入れ、音が鳴るかを確認してください。

パッドの種類を設定する
（TD-07 以外のドラム音源を使う場合）

※ ドラム音源は、システム・プログラムを最新のバージョンにアップデートしてお使いください。

1. PAD SETTINGS 画面を表示させ、[PAD TYPE] または [TRIG TYPE] を以下のように設定します。

PAD TYPE または TRIG TYPE	設定値 (パッドの種類)
KICK	KDQ-8
SNARE	PDQ-8S
TOM1 ～ 3	PDQ-8
RIDE	CYQ-12
CRASH 1	CYQ-12
HI-HAT	CYQ-12

設定値に左記のパッドがない場合は、ローランド・ホームページのサポート情報をご確認ください。

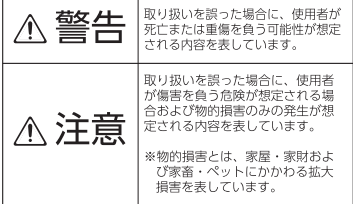
https://roland.cm/trigger_prm



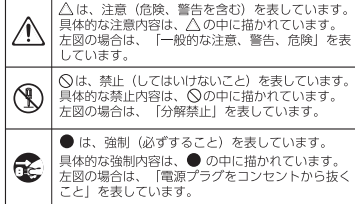
安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について



図記号の例



注意

指定のスタンドのみ使用する

本機は当社製のスタンド（MDS-Q）とのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

注意

移動するときの注意

本機を移動するときは以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の上に落としたりしないように注意してください。

- 機器本体とスタンドを固定しているボルトやハンド・ノブが緩んでいないか、確認する。緩んでいる場合は、しっかり固定する。
- 電源コードをはずす。
- 外部機器との接続をはずす。

使用上のご注意

設置について

- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

その他の注意について

- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

知的財産権について

- Roland、V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

お問い合わせの窓口

ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品（電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど）
https://roland.cm/roland_support



プロAV製品（ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など）

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



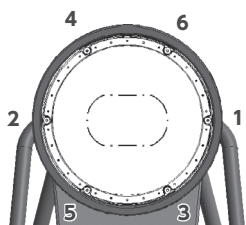
ヘッドの張り具合を調節する

必要に応じて、ヘッドの張り具合を調節してください。

※ 調節には、付属の六角レンチをお使いください。

KDQ-8

- それぞれのテンション・ボルトを少しずつ、図のように対角線を結び順に調節します。



※ 1 箇所のテンション・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張れないため、適切な打感が得られなくなるだけでなく、誤動作や故障の原因にもなります。

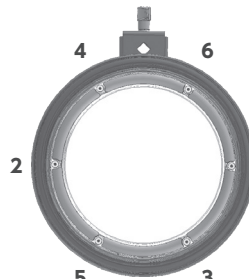
- ヘッドの張り具合が均等になるように、各テンション・ボルトの締め具合を調整します。

ヘッドの一番外側の縁とフレーム内側の縁の高さが揃うように、各テンション・ボルトの締め具合を調整します。



PDQ-8S / PDQ-8

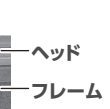
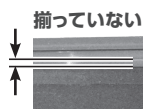
- それぞれのチューニング・ボルトを少しずつ、図のように対角線を結び順に調節します。



※ 1 箇所のチューニング・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張れないため、適切な打感が得られなくなるだけでなく、誤動作や故障の原因にもなります。

- ヘッドの張り具合が均等になるように、各チューニング・ボルトの締め具合を調整します。

ヘッドの一番外側の縁とフレーム内側の縁の高さが揃うように、各チューニング・ボルトの締め具合を調整します。

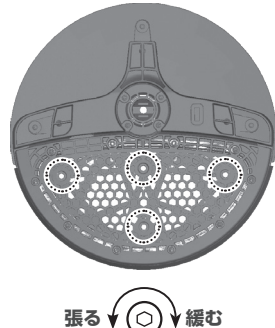


CYQ-12

CYQ-12 は、ヘッドの下にあるゴムをヘッドに押し当てることで、ヘッドの張りを保つ設計になっています。
ヘッドとゴムの密着度が下がってくると、ヘッドを叩いたときにヘッドの打撃音とは別の異音が発生するようになります。
このような症状が現れたら、ヘッドの張り具合を調節してください。

- 異音が出る場所に近いチューニング・ボルトを中心に、各チューニング・ボルトを小刻みに回しながら少しずつ調節します。

※ チューニング・ボルトを一度に強く締めないでください。故障の原因になります。



- 異音が消えるまで、各チューニング・ボルトの締め具合を調整します。

チューニング・ボルトを小刻みに回しながら音を確認し、異音が消えるまでチューニング・ボルトの締め具合を調整します。

注意

ヘッドの張り具合の調節には限度があります。張り具合を正しく調節しても異音が消えなかったり、調節した結果、ヘッド（打面）が極端に高くなったりする場合は、早めのヘッド交換をおすすめします。